

令和7年度 地域連携推進会議

議事録

日時 : 令和8年3月3日(火) 午前11時~12時25分

場所 : 誠光園ほおじろ館コミュニティーホール

参加者 : A様 (福祉知見者/利用者家族)
B様 (地域関係者)
C様 (市町村担当者)
D様 (市町村担当者)
E様 (利用者家族)
F様 (利用者家族)
G様 (利用者)
H様 (利用者)

<誠光園 職員>

施設長 小林 陽司

サービス管理責任者 齋藤 修

サービス管理責任者 利野 清

サービス管理責任者 関口 雅仁

事務員 中村 正教

(順不同)

進行 : 関口 雅仁

議事

(1) 誠光園施設長 挨拶

誠光園施設長の小林でございます。本日は雨の中ご参加いただき、誠にありがとうございます。また日頃より、誠光園の施設運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。本日は「地域連携推進会議」という名称の会議ですが、詳細は後ほど担当者より説明いたしますので、私からは少し別のお話をさせていただきます。

誠光園は今年度で開設40年を迎えました。昭和61年に身体障害者療護施設として定員50名でスタートし、平成元年に新館を増築、現在は100名の入所施設となっております。当法人は、入所者・通所者のみならず、地域の皆様とも連携し、福祉の向上を目指してまいりました。開設当初より地域福祉サービスを掲げ、ボランティア育成や地域行事への参加、地域交流スペースの設置などを行ってきました。地域との連携で最

も大切なのは「人とのつながり」だと私は考えています。

少し自己紹介をさせていただきますと、私は平成2年に介護職員として誠光園に入職し、平成10年まで勤務しました。その後、市内の高齢者施設、千葉市の特別養護老人ホーム、保育園などを経て、昨年度再び誠光園に戻ってまいりました。これまでの経験を活かし、地域に少しでも貢献できればと思っております。

本日は限られた時間ではございますが、有意義な時間となれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 地域連携推進員・職員 自己紹介

各地域連携推進員より自己紹介と挨拶を頂く。

職員より自己紹介と挨拶をする。

(3) 地域連携推進会議の説明

資料：令和7年度 地域連携推進会議（パワーポイント）

<個人情報保護に関するお願い 1ページ>

会議で「知り得た情報等」につきましては、他者への口外、漏らすことが無いようよろしくお願いいたします。また、施設内では、カメラ、携帯電話での撮影は禁止です。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

<地域連携推進会議の目的、役割 2ページ>

「利用者地域との関係づくり」「地域の人への施設等や利用者に関する理解の促進」「施設等やサービスの透明性・質の確保」「利用者の権利擁護を目的としております。

地域連携推進員におかれましては、様々な視点からご意見等を頂戴いただけたらと思っております。

地域連携推進会議では、より良いサービスの提供やご入居者の「地域での暮らし」の推進につなげ、施設と地域がより深く密接な関係が築ける場としていきたいと考えます。

<施設の概要 3ページ>

当法人千葉県福祉援護会は「すべての人が心豊かに暮らすことができる社会形成に貢献します」を法人理念とし、ご利用者、ご入居者のために「心のこもった質の高いサービスを提供します」、職員に対して「やりがい溢れ、法人と共に成長できる環境を創出します」、地域社会の一員として「調和と連携を重んじた共生社会づくりに貢献します」を基本方針としております。

<事業内容、利用定員、長期入所平均障害支援区分、サービス体制

4 ページ>

長期入所、短期入所、通所、日中一時支援、相談支援事業の5つの事業を行っております。1日の利用定員は、長期入所90名、短期入所10名、通所12名です。長期入所の平均障害支援区分は5.7で通所は5.2です。入所施設のサービス体制ですが、建物は本館と新館があり、各フロアで、ご入居者の障害特性や生活スタイル、リズムなどを踏まえたユニット体制をとっております。各フロアの特性につきましては資料をご参照ください。

<職員配置、職員数、勤務体制 5 ページ>

こちらは、主に直接的な支援を行う職員ですが、この他にもシーツ交換や清掃などを行うケアメイド、建物修繕などを行う庶務や事務員などもあります。食事は、委託業者で株式会社メフォスが調理を行っております。

勤務体制です。ケアスタッフは交代制の勤務で日にもよりますが日中は10名前後、夜勤は本館2名、新館3名体制で24時間365日の支援体制で行っております。看護師は、8:45~17:30の日勤勤務となります。

<入居者の生活日課 6 ページ>

本館新館共に基本的な1日の流れは変わりませんが、本館はリビングが1カ所のためお食事は2部制で行っております。

入浴は、機械浴室、一般浴室、自立浴室の3カ所あり、安全に安心してご入浴して頂けるよう、お身体の状態に合わせた浴室で、週2回入浴しております。

日中活動の様子をお写真で掲載させて頂きました。日中活動は、ご入居者が楽しみを持って過ごして頂けるよう、趣味活動や創作活動、レクリエーションやリフレッシュを目的とした活動など様々な活動を行っております。また、毎月定期的に作業訓練園芸や音楽サークル、レクリエーションボッチャなども行っております。足浴会は、足浴をしながら、みなさんで談話しご入居者同士の交流の時間としても楽しまれておりました。

<施設行事、イベント 7 ページ>

右の表は今年度実施しました、行事や外出行事です。行事では季節を感じて頂けるよう、季節ごとの行事を行っております。また、お食事もクリスマスには骨付きチキン、お正月にはおせち料理、オータムフェスタではお祭りメニューなどの特別メニューをご用意しており、みなさん行事やイベントを楽しみにされております。

左下の写真は、新春レクリエーションで行いました凧揚げです。見ての

通り、残念ながら高く上げることが出来ず、駐車場中を駆け回る職員を見て、皆さんは大笑いをされておりました。

写真は、鎌ヶ谷スタジアムで野球観戦された時のものです。外出行事ではご入居者にご希望の場所をお聞きし、様々な場所に出かけております。

<地域との関わり 8ページ>

表は今年度行いました地域との交流、活動です。とよみ福祉まつりでは音楽サークルの発表や駄菓子の販売、小室文化まつりではご入居者の作品展示、清掃活動では小野田町会のみなさんと一緒にゴミ拾いなどに参加させて頂きました。また、右側のお写真は、ボランティアの皆さんです。感染症対策のため、まだまだ再開できていない活動がたくさんあります。今後につきましては、ボランティアさんの受入れや近隣住民の方をお招きした形でのオータムフェスタの再開もして参りたいと考えております。また、地域イベントや地域活動への参加をこれからも増やしていきたいと考えております。

<自然災害、感染症発生時の取り組み 9ページ>

災害発生時や感染症発生時について災害発生に備え避難訓練等はもちろんですが、防災物品や備蓄品の点検も適時行っております。

下に記載しています福祉避難所についてご説明します。福祉避難所は、一般の宿泊可能避難所では生活に支障がある要配慮者の支援が可能な設備や人材を備えた宿泊可能避難所です。船橋市から事前に依頼を受け、協定を締結することで、災害が発生した際にスムーズに受け入れを行える体制を整え、地域の避難所として地域連携を行います。

<権利擁護の取り組み 10ページ>

近年では高齢者虐待や障害者虐待のニュースをよく目にする事が増えているように感じています。近隣の市町村でも虐待のニュースが聞かれていることは皆さまも記憶にあるかなと思いますが、一番ひどいものと身体的虐待が原因での死亡事故等も起きています。

最近ではスマートフォンが普及した事で写真や動画が撮れるようになっております。軽はずみにご利用者の写真を撮影し、加工してグループラインへ送る等の心理的虐待に該当するケースもありました。

当事者は虐待をしているつもりはなかったと思いますが、結果的には虐待に繋がってしまった事例ではないかと思っております。虐待は「虐待を受けている」「虐待をしている」という自覚は問いません。といった言葉があるように、どこにでも起きる可能性がある事を意識しながら日々の業務に努めています。

そういった虐待を防ぐ為に行っている内容がスライドに記載してある内

容になります。その中の1つに虐待防止委員会の設置を行っておりますが、この委員会では原因不明の痣がないかどうか、虐待に繋がるような事例はなかったのか等話し合い共有し、問題を早期に発見することで改善に繋げるよう努めています。また、外部研修等へ参加し、専門家から正しい知識や支援方法を学ぶ事で、より良い関わり方を身に付けることができたり、そこからの視点を入れる事で自分達の支援を振り返るきっかけにもなると思っています。

誠光園における事故やひやりはっとの内容についてはスライドに書いてありますので参考にして頂ければと思います。

一番下に明記しております「身体拘束の事例」というものがありますが、誠光園では1名の方の身体拘束を行っています。身体拘束については、ご家族から同意を頂いているものの、同意があるからといって安易に実施して良いものではないと考えています。身体拘束は利用者の尊厳や自己決定権を制限する重大な行為であり、あくまで切迫性、非代替性、一時性の三要件を満たした場合に限定されると思っております。

身体拘束についても委員会の中で対応の緩和が出来ないか、どうすれば解除できるかを検討し、環境面や見守り体制などを協議し、可能な限り早期の解除を目指しております。

今は職員の「通報義務」について職員へ周知しています。虐待発生時や虐待の疑いがあるものについてはすぐに通報してほしい事を発信しています。問題が深刻化しないよう様々な人の目で守っていく事が大切だと思っておりますので、これからも取り組んでいきたいと考えております。

<施設内見学 11ページ>

それでは施設内の見学に移らせて頂きます。冒頭にありましたがプライバシーの関係上、単独での行動はお控えください。職員がご案内いたしますので、ご一緒をお願いします。

入浴施設につきましては、現在、使用中のため見学が出来ませんので写真にてご案内させて頂きます。

見学後、意見交換会をこちらで行いますが、貴重品は各自で管理をお願いします。

(4) 施設内見学

<見学場所>

新館：ひまわりリビング、医務室

さざんかリビング、G様居室、H様居室、通所ルーム

本館：リビング、居室326号室、本館ケアステーション、厨房、

総合相談室、相談室

(5) 意見交換会

A様：(質問)

会員の中で見学を希望されている方がいらっしゃいます。コロナ禍では難しいということでしたが、現在はどの程度まで見学が可能なのでしょうか。以前は人数を分けてという話もありましたが、どのような形で見学させていただけるのかお伺いしたいです。

小林：(回答)

ご質問ありがとうございます。コロナ禍以降、施設の生活は大きく変わりました。世間では落ち着いたと言われていますが、施設では依然として慎重な対応を続けています。まず大切にしているのは、ご入居者のご家族の面会です。現在は玄関ロビーでの面会となっております。感染状況を見ながら、まずは面会の再開、その次に見学受け入れを段階的に検討していきたいと考えています。来年度の事業計画の中でも検討しておりますので、時期についてはお問い合わせいただければ、その都度ご相談させていただきます。

A様：(質問)

来年度に見学を希望する場合、何月頃という希望を申し出て、人数や時間などを確認すればよろしいということですね。

小林：(回答)

はい、その通りです。少しずつ日常生活に戻していく方針です。ただ、施設内で感染が発生すると重症化のリスクもあるため、慎重に判断しております。命を預かる施設としてご理解いただければと思います。ぜひ個別にお問い合わせください。

B様：(質問)

この推進会議は、今後も毎年開催されるのでしょうか。

関口：(回答)

はい、年度1回の開催を予定しております。

B様：町会長は2年で交代しますので、毎年開催していただけると助かります。

関口：開催の際には改めてご案内いたしますので、ぜひご参加いただければと思います。

C様：(感想)

本日見学させていただき、きめ細かな支援をされていると感じました。市役所勤務では現場を見る機会が少ないため、大変勉強になりました。

D様：(意見)

コロナで急に来られなくなり、久しぶりに食堂やお部屋を見せていただきました。以前は自由に面会でき、部屋にも入れていましたが、今は時間制限があります。それでも面会時間が延びてきておりありがたいです。将来的に、時々でもお部屋を見せていただける機会があれば嬉しいです。楽しい時間を過ごしてもらいたいと思い、面会に来ています。いつも丁寧に対応していただき感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

関口：(質問)

B様にお伺いしたいのですが、現在清掃活動に職員が参加していますが、ご入居者も一緒に地域活動に参加できる機会はありませんでしょうか。

B様：(回答)

現状では特に計画はありませんが、ゴミ拾いなどに参加していただけるのはありがたいです。協力いただければ助かります。

H様：(質問)

以前ホーム喫茶を開催していましたが、再開する場合、町会の方がボランティアとして参加することは可能でしょうか。依頼があれば、参加できる方はいると思います。

関口：(質問内容説明)

ホーム喫茶は、コミュニティーホールにテーブルを置き、喫茶店形式で実施していました。ボランティア団体の高齢化もあり、今後再開する場合に町会の皆様にご協力していただくことはできますかという内容です。

B様：(回答)

再開するのであれば、ぜひ参加させていただきたいと思います。

小林：地域との関わりについては、まずはハードルを下げて、オセロや囲碁などの活動と一緒に参加していただくなど、無理のない形から再開できればと思っています。コロナで関係が減ってしまいましたが、少しずつ再構築していければと考えています。

H様：閉鎖的にならず、催しの1つとして関わるとよいですね。

H様：(報告)

専門学校の授業に参加し、当事者の立場から学生へ話をする取り組みをしています。3年前から ZOOM で、昨年からは直接学校へ伺っています。少しずつ広げているところです。

(6) 閉会の挨拶

小林：本日は長時間ありがとうございました。誠光園は40年を迎えましたが、これからも「利用してよかった」「この地域にあってよかった」と言っただけの施設を目指し、職員一同取り組んでまいります。今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

関口：令和7年度地域連携推進会議を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

(7) 資料

- ・令和7年度 地域連携推進会議 次第
- ・令和7年度 地域連携推進会議 (パワーポイント)